

柏原小学校の学力向上策

全国学力学習状況調査の結果が出ました。本校児童は、生活習慣が身につけており、規範意識が高いことがわかりました。また、文章を読み取る力もあります。これらは本校の「強み」です。米原市独自で実施された5年生対象の学力調査の結果と併せて精査し、「弱み」攻略のために全校で取り組んで行くことをまとめました。

1 自尊感情・自己有用感・自信を育てることで、学校生活を生き生きと楽しませる

- ・今、子どもたちが欲しているのは「承認」。認めてもらうことだそうです。「あなたがいてくれて助かった」「あなたがいてくれて楽しかった」「さすが、きみだね」「やったらできたね」・・・存在自体を肯定する思いを、言葉にして伝えます。

2 国語科

- ・テーマを与えたり、条件を決めたりして書くことに慣れさせる指導を全校で取り組むことにしました。

3 算数科

- ・ただ計算や作図の技能を伸ばすことに偏らず、その数の意味や図形の特徴を確かに理解しているかどうか視点をあて、一人一人の理解度を確認しながら進めていきます。
- ・問題を解く筋道を書いたり説明したりする活動を大事にします。

4 理科

- ・知っていることを思い出して予想を立てることや、実験観察の後は、予想したことと関連づけてわかったことをまとめる活動を大事にします。

5 各教科共通

- ・教えることと考えさせることを区別し、自ら考える意欲を育てます。そのため、グループで話し合っ解決し、考えをまとめて発表するなどの「アクティブ・ラーニング」の学習形態を多く取り入れます。

6 家庭学習習慣

- ・ほとんどの子が、宿題はしっかりとできていることがわかりました。しかし、自分で計画して宿題以外の学習に取り組む子が少ないこともわかりました。「家庭学習の手引き」を参考に、自ら学ぶ習慣を身につけさせたいです。がんばっている児童のノートを例にとりながら指導を行っていきます。この機会に「学習習慣」と「学力の向上」は切っても切れない関係にあることを、学校と家庭の両方の共通課題としておきたいと思います。